

【生薬名】 枸杞子 *LYCII FRUCTUS*

【起源植物】 クコ *Lycium chinense*



【科名】 ナス科 Solanaceae

【別名】 一名杞根、一名地骨、一名苟忌、一名地輔と神農本草經にある

【薬用部分】 果実(枸杞子)、

【主成分】 果実(VC、ルチン)、ベタイン

【薬性】 枸杞子の気味は甘平、帰経は肝腎に属す

【効能】 ●補肝腎・生精血・明目

●枸杞子5～10gを煎服、滋養強壯、肝腎を滋補する

●枸杞子酒を1杯飲んでもよい

『枸杞子酒』 枸杞子200g、グラニュー糖200g、柯トリカ-1.8ℓ、3～6ヶ月熟成

●肝炎や肝硬変の方は生薬の枸杞子を毎日20～30粒食べると良いです

●肝細胞内の脂肪沈着を抑制し肝細胞の新生を促進する

●肝腎を平補する常用薬で平性ゆえに故陰虚陽虚どちらにも使うが陰虚に良く用いる、内熱がある時には使用を控えるのがよい

●一般的な腎虚に用いる

●眼科にも多用、目がくらむ、目がかすむ、視力減退等の老人性白内障の初期

【備考】 ●挿し木で簡単に増えるので一鉢作っておくと便利

●枸杞の補益性は蒺藜子より強い

【出典】 ●味苦寒、生平澤、治五内邪氣、熱中消渴、周痺、久服堅筋骨、輕身耐老。(神農本草經上品)

●

【処方例】 ●一貫煎、左帰飲、杞菊地黄丸